

第4部 資料編

I 集計表

以下の集計においては、特に表に示している場合を除き、「わからない」旨の回答は欠損値として集計から除かれている。そのため、各表の合計の値が必ずしも一致しない場合がある。

1 基本集計表

【表2-0-1】対象地裁における終局事件の予想

地裁規模		既済件数			抽出期間				
		民事通常	人事	合計	4週間	3週間	2週間	10日	1週間
L	北海道 (札幌)	3,353	176	3,529	287	215	143	115	72
S	秋田県	441	28	469	38	29	19	15	10
M	福島県	508	45	553	45	34	22	18	11
M	群馬県 (前橋)	747	52	799	65	49	32	26	16
LL	東京都	31,727	823	32,550	2,646	1,985	1,323	1,059	662
S	富山県	334	25	359	29	22	15	12	7
S	山梨県 (甲府)	639	40	679	55	41	28	22	14
L	静岡県	967	98	1,065	87	65	43	35	22
M	滋賀県 (大津)	677	47	724	59	44	29	24	15
LL	大阪府	14,632	513	15,145	1,231	923	616	493	308
S	島根県 (松江)	152	9	161	13	10	7	5	3
M	岡山県	1,311	65	1,376	112	84	56	45	28
M	愛媛県 (松山)	1,033	45	1,078	88	66	44	35	22
L	福岡県	4,646	158	4,804	391	293	195	156	98
S	宮崎県	670	25	695	57	42	28	23	14
S	沖縄県 (那覇)	1,012	60	1,072	87	65	44	35	22
	16地裁 合計				5,289	3,967	2,645	2,116	1,322
	網掛合計				1,412	1,059		1,551	

4週+10日 LL 1551、L 765、M 369、S 279 合計 2963
 3週+10日 LL 1551、L 573、M 276、S 209 合計 2610

地裁規模

LL: 超大規模地裁(「超大地裁」と呼ぶ)

L: 大規模地裁(「大地裁」と呼ぶ)

M: 中規模地裁

S: 小規模地裁

(中規模・小規模をあわせ「中小地裁」呼ぶ)

計算方法

年間既済件数を年間稼働日数(365日から土日、
 祝祭日を除いた日数246日)で割り

【表2-1-1】 回収状況

		既済実数			住所開示		依頼状発送人数			実質調査人数		
		通常	人事	合計	件数	人数	合計	原告	被告	合計	原告	被告
L	北海道 (札幌)	187	4	191	132	264	193	88	105	146	69	77
S	秋田県	28	0	28	20	40	26	13	13	19	8	11
M	福島県	11	3	14	11	22	17	9	8	12	6	6
M	群馬県 (前橋)	37	3	40	26	52	33	19	14	21	12	9
LL	東京都	771	15	786	429	858	642	292	350	470	207	263
S	富山県	18	0	18	12	24	14	6	8	12	5	7
S	山梨県 (甲府)	28	7	35	24	48	42	22	20	32	17	15
L	静岡県	43	2	45	39	78	62	29	33	50	22	28
M	滋賀県 (大津)	39	2	41	28	56	45	21	24	32	14	18
LL	大阪府	333	13	346	115	230	192	99	93	141	67	74
S	島根県 (松江)	4	0	4	4	8	1	1	0	0	0	0
M	岡山県	71	5	76	38	76	56	28	28	42	17	25
M	愛媛県 (松山)	52	1	53	23	46	31	13	18	24	10	14
L	福岡県	238	11	249	142	284	187	77	110	145	58	87
S	宮崎県	37	5	42	2	4	4	2	2	3	1	2
S	沖縄県 (那覇)	61	1	62	42	84	67	29	38	53	24	29
	16地裁 合計	1958	72	2030	1087	2174	1612	748	864	1202	537	665

(回収状況 - 続き)

		回収数			回収率		
		合計	原告	被告	合計	原告	被告
L	北海道 (札幌)	66	37	29	34.2%	42.0%	27.6%
S	秋田県	10	3	7	38.5%	23.1%	53.8%
M	福島県	7	3	4	41.2%	33.3%	50.0%
M	群馬県 (前橋)	17	10	7	51.5%	52.6%	50.0%
LL	東京都	212	109	103	33.0%	37.3%	29.4%
S	富山県	7	3	4	50.0%	50.0%	50.0%
S	山梨県 (甲府)	26	13	13	61.9%	59.1%	65.0%
L	静岡県	33	20	13	53.2%	69.0%	39.4%
M	滋賀県 (大津)	12	8	4	26.7%	38.1%	16.7%
LL	大阪府	57	31	26	29.7%	31.3%	28.0%
S	島根県 (松江)	0	0	0	0.0%	0.0%	---
M	岡山県	18	6	12	32.1%	21.4%	42.9%
M	愛媛県 (松山)	13	9	4	41.9%	69.2%	22.2%
L	福岡県	84	40	44	44.9%	51.9%	40.0%
S	宮崎県	2	1	1	50.0%	50.0%	50.0%
S	沖縄県 (那覇)	26	15	11	38.8%	51.7%	28.9%
	16地裁 合計	590	308	282	36.6%	41.2%	32.6%

【表2-1-2】住所開示状況

		予想件数 合計	既済実数			欠席事件 等補正 (- 2 5 %)	的中率 実数/予 想数	住所到着 件数 合計	住所到着率			
			民事通常	人事	合計				住所数/ 既済実数	(除専 門・集中 部)	住所件数 /補正件 数	(除専 門・集中 部)
L	北海道 (札幌)	215	187	4	191	143	88.8%	132	69.1%		92.1%	
S	秋田県	29	28	0	28	21	97.9%	20	71.4%		95.2%	
M	福島県	34	11	3	14	11	41.5%	11	78.6%		100.0%	
M	群馬県 (前橋)	49	37	3	40	30	82.1%	26	65.0%		86.7%	
LL	東京都	1059	771	15	786	590	74.3%	432	55.0%	62.4%	73.3%	83.2%
S	富山県	22	18	0	18	14	82.2%	11	61.1%		81.5%	
S	山梨県 (甲府)	41	28	7	35	26	84.5%	26	74.3%		99.0%	
L	静岡県	65	43	2	45	34	69.3%	39	86.7%		100.0%	
M	滋賀県 (大津)	44	39	2	41	31	92.9%	28	68.3%		91.1%	
LL	大阪府	493	333	13	346	260	70.3%	119	34.4%	44.1%	45.9%	58.8%
S	島根県 (松江)	10	4	0	4	3	40.7%	4	100.0%		100.0%	
M	岡山県	84	71	5	76	57	90.6%	41	53.9%		71.9%	
M	愛媛県 (松山)	66	52	1	53	40	80.6%	23	43.4%		57.9%	
L	福岡県	293	238	11	249	187	85.0%	141	56.6%		75.5%	
S	宮崎県	42	37	5	42	32	99.1%	2	4.8%		6.3%	
S	沖縄県 (那覇)	65	61	1	62	47	94.9%	43	69.4%		92.5%	
	16地裁 合計	2610	1958	72	2030	1523	77.8%	1098	54.1%		72.1%	

LL: 超大規模庁、L: 大規模庁、M: 小規模庁、S: 小規模庁

補正後100%を
越えるものは
100%に修正

【表2-1-3】 回収率（住所開示人数を100%とする）

		依頼状発送時			最終面接時			回収時		
		合計	原告	被告	合計	原告	被告	合計	原告	被告
L	北海道 (札幌)	73.1%	66.7%	79.5%	55.3%	53.6%	22.0%	25.0%	28.0%	22.0%
S	秋田県	65.0%	65.0%	65.0%	47.5%	37.5%	35.0%	25.0%	15.0%	35.0%
M	福島県	77.3%	81.8%	72.7%	54.5%	50.0%	36.4%	31.8%	27.3%	36.4%
M	群馬県 (前橋)	63.5%	73.1%	53.8%	40.4%	83.3%	26.9%	32.7%	38.5%	26.9%
LL	東京都	74.8%	68.1%	81.6%	54.8%	52.7%	24.0%	24.7%	25.4%	24.0%
S	富山県	58.3%	50.0%	66.7%	50.0%	60.0%	33.3%	29.2%	25.0%	33.3%
S	山梨県 (甲府)	87.5%	91.7%	83.3%	66.7%	70.8%	62.5%	54.2%	54.2%	54.2%
L	静岡県	79.5%	74.4%	84.6%	64.1%	90.9%	33.3%	42.3%	51.3%	33.3%
M	滋賀県 (大津)	80.4%	75.0%	85.7%	57.1%	57.1%	14.3%	21.4%	28.6%	14.3%
LL	大阪府	83.5%	86.1%	80.9%	61.3%	46.3%	22.6%	24.8%	27.0%	22.6%
S	島根県 (松江)	12.5%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
M	岡山県	73.7%	73.7%	73.7%	55.3%	35.3%	31.6%	23.7%	15.8%	31.6%
M	愛媛県 (松山)	67.4%	56.5%	78.3%	52.2%	90.0%	17.4%	28.3%	39.1%	17.4%
L	福岡県	65.8%	54.2%	77.5%	51.1%	69.0%	31.0%	29.6%	28.2%	31.0%
S	宮崎県	100.0%	100.0%	100.0%	75.0%	100.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
S	沖縄県 (那覇)	79.8%	69.0%	90.5%	63.1%	62.5%	26.2%	31.0%	35.7%	26.2%
	16地裁 合計	74.1%	68.8%	79.5%	54.9%	57.4%	25.9%	27.1%	28.3%	25.9%

【表2-1-4】 未回収内訳

	件数	対未回収 比	対全体比
事前拒否	411	40.2%	25.5%
拒否	291	28.5%	18.1%
不在	139	13.6%	8.6%
転居	93	9.1%	5.8%
住所不明	55	5.4%	3.4%
その他	33	3.2%	2.0%
合計	1022	100.0%	63.4%

【表2-1-5】平成11年事件との事件類型別比較

	平成11年事件		住所開示事件		回答者	
	件数	%	件数	%	件数	%
人事を目的とする訴え	6,804	5.8%	43	3.9%	24	4.1%
金銭を目的とする訴え	77,275	65.6%	761	69.3%	410	70.0%
建物を目的とする訴え	17,111	14.5%	175	15.9%	84	14.3%
土地を目的とする訴え	10,380	8.8%	60	5.5%	32	5.5%
その他の訴え	6,219	5.3%	59	5.4%	36	6.1%
合計	117,789	100.0%	1,098	100.0%	586	100.0%

平成11年事件は対席判決、和解、取り下げの合計)

回答者に関しては、類型不明事件5件を除く

【表2-1-6】平成11年事件との終局区分別比較

	平成11年事件		住所開示事件		回答事件	
	件数	%	件数	%	件数	%
対席判決	47,270	38.4%	385	35.1%	159	35.7%
和解	49,435	40.2%	581	52.9%	242	54.4%
取り下げ	21,075	17.1%	129	11.7%	44	9.9%
その他	5,296	4.3%	3	0.3%	0	0.0%
合計	123,076	100.0%	1,098	100.0%	445	100.0%

(参考)

【平成11年 司法統計年報 第19表】

	平成11年	
	件数	%
対席判決	47,270	30.6%
欠席判決	31,270	20.3%
和解	49,435	32.0%
取り下げ	21,075	13.7%
その他	5,296	3.4%
合計	154,346	100.0%

【表2-1-7】平成11年事件との審理期間別比較

	1月以内	2月以内	3月以内	6月以内	1年以内	2年以内	3年以内	3年を越える	合計
平成11年事件	7954	19874	14294	22304	24083	21171	7552	5844	123076
住所開示事件	28	189	178	238	229	169	44	22	1097
回答事件	10	95	95	121	135	94	29	10	589

	1月以内	2月以内	3月以内	6月以内	1年以内	2年以内	3年以内	3年を越える
平成11年事件	6.5%	16.1%	11.6%	18.1%	19.6%	17.2%	6.1%	4.7%
住所開示事件	2.6%	17.2%	16.2%	21.7%	20.9%	15.4%	4.0%	2.0%
回答事件	1.7%	16.1%	16.1%	20.5%	22.9%	16.0%	4.9%	1.7%

【表2-2-1】 自然人・法人別割合

	人数	%
自然人	342	58.3%
法人	245	41.7%
合計	587	100.0%

(不明4件)

【表2-2-3】 弁護士の有無別割合

	人数	%
弁護士あり	429	73.0%
弁護士なし	159	27.0%
合計	588	100.0%

(不明3件)

【表2-2-5】 原告・被告×弁護士の有無クロス

	弁護士あり	弁護士なし	合計
原告	266	51	317
被告	160	109	269
合計	426	160	586

【表2-2-2】 原告・被告別割合

	人数	%
原告	319	54.3%
被告	269	45.7%
合計	588	100.0%

(不明3件)

【表2-2-4】 自然人・法人×原告・被告クロス

	原告	被告	合計
自然人	171	171	342
法人	148	96	244
合計	319	267	586

【表2-2-6】 自然人・法人×弁護士の有無クロス

	弁護士あり	弁護士なし	合計
自然人	228	113	341
法人	197	47	244
合計	425	160	585

【表2-2-7】 自然人法人×原告被告クロスと弁護士の有無

	弁護士有り		弁護士無し		合計
自然人原告	149	87.6%	21	12.4%	170
自然人被告	79	46.2%	92	53.8%	171
法人原告	117	79.6%	30	20.4%	147
法人被告	79	82.3%	17	17.7%	96
合計	424	72.6%	160	27.4%	584

【表2-2-8】 通常・人事別割合

	人数	%
通常	566	95.9%
人事	24	4.1%
合計	590	100.0%

(不明1件)

【表2-2-9】 平均訴額

	万円	実回答者数
自然人原告	1992.1	153
自然人被告	1086.0	149
法人原告	2520.3	139
法人被告	5649.6	87
全体	2494.6	528

【表2-3-0】回答者の内訳

自然人

	全体	原告	被告
当事者	335	159	177
法定代理人	8	5	3

法人

	全体	原告	被告
代表者	95	50	45
担当者	143	90	53
その他	9	4	5

【表2-3-0-1】回答者の訴訟・調停経験の有無

		経験有り		経験なし		合計
自然人	原告	62	39.0%	97	61.0%	159
	被告	62	35.6%	112	64.4%	174
法人	原告	109	76.8%	33	23.2%	142
	被告	65	66.3%	33	33.7%	98

【表2-3-1】裁判による紛争解決に要した時間

	日数
裁判原因が生じてから訴えが提起される間での日数	883.3
訴えが提起されてから終局までの日数	258.2
裁判原因が生じてから終局までの日数	1066.5

平均値は、月の15日を基準に計算、不整値は欠損値として排除、そのため、個々の平均値間の整合性はない

【表2-3-2】裁判前の対応

	直接交渉	人を介した交渉	親戚・友人・同僚に相談	無料法律相談	有料法律相談	司法書士・税理士等への相談	調停等の利用	何もしなかった	回答者人数
件数	385	96	47	54	145	30	34	69	590
%	65.3%	16.3%	8.0%	9.2%	24.6%	5.1%	5.8%	11.7%	100.0%

【表2-3-3】 原告の訴訟利用動機

	全く思わ なかった	あまり思 わなかつ た	どちらと もいえな い	少し思っ た	強く思っ た	合計
権利の実現、権利を守る	4	13	25	29	245	316
経済的利益を守る	6	18	24	32	236	316
自由・プライバシーを守る	156	40	50	18	49	313
名誉や自尊心を守る	115	48	50	35	65	313
公正な解決への期待	2	9	15	37	253	316
強制力への期待	14	13	35	59	195	316
相手を懲らしめる	94	52	53	47	67	313
相手の交渉拒絶（原告のみ）	20	8	41	49	198	316
白黒をつける	20	9	29	52	205	315
公の場での議論への期待	70	43	60	57	85	315
裁判官との対話	91	45	59	44	75	314
他に手段なし（原告のみ）	5	7	25	44	236	317
勝てると思った（原告のみ）	5	8	46	45	211	315
人に勧められた（原告のみ）	170	41	45	29	29	314

比率の計算に当たっては、次のようにまとめた。

「全く思わなかった」+「あまり思わなかった」 「全く・あまり思わなかった」
「少し思った」+「強く思った」 「少し・強く思った」

全く・あ まり思わ なかった	どちらと もいえな い	少し・強 く思っ た
5.4%	7.9%	86.7%
7.6%	7.6%	84.8%
62.6%	16.0%	21.4%
52.1%	16.0%	31.9%
3.5%	4.7%	91.8%
8.5%	11.1%	80.4%
46.6%	16.9%	36.4%
8.9%	13.0%	78.2%
9.2%	9.2%	81.6%
35.9%	19.0%	45.1%
43.3%	18.8%	37.9%
3.8%	7.9%	88.3%
4.1%	14.6%	81.3%
67.2%	14.3%	18.5%

【表2-3-4】 被告の訴訟への期待

	全く思わ なかった	あまり思 わなかつ た	どちらと もいえな い	少し思っ た	強く思っ た	合計
権利の実現、権利を守る	25	29	34	38	134	260
経済的利益を守る	29	21	32	42	140	264
自由・プライバシーを守る	87	37	39	36	60	259
名誉や自尊心を守る	51	29	49	47	85	261
公正な解決への期待	15	13	21	39	174	262
強制力への期待	38	34	66	49	75	262
相手を懲らしめる	123	34	58	16	31	262
白黒をつける	25	16	32	51	137	261
公の場での議論への期待	52	45	53	33	77	260
裁判官との対話	51	30	49	44	87	261

比率の計算に当たっては、【表2-3-3】に同じ。

全く・あ まり思わ なかった	どちらと もいえな い	少し・強 く思っ た
20.8%	13.1%	66.2%
18.9%	12.1%	68.9%
47.9%	15.1%	37.1%
30.7%	18.8%	50.6%
10.7%	8.0%	81.3%
27.5%	25.2%	47.3%
59.9%	22.1%	17.9%
15.7%	12.3%	72.0%
37.3%	20.4%	42.3%
31.0%	18.8%	50.2%

【表2-3-5】 訴訟回避傾向

	人数	%
訴訟をためらう気持ちがあった	271	46.2%
訴訟をためらう気持ちがなかった	315	53.8%
合計	586	100.0%

(不明5件)

【表2-3-6】 訴訟回避理由

	全く思わ なかった	あまり思 わなかつ た	どちらと もいえな い	少し思っ た	強く思っ た	合計
費用がかかると思った	48	25	15	69	111	268
時間がかかると思った	37	21	17	73	120	268
対立が決定的になると思った	85	40	45	41	57	268
世間体が悪いと思った	137	43	34	27	26	267
負ける可能性が大きいと思った	154	25	49	18	21	267
人に知られたくなかった	154	34	30	28	20	266
準備が大変だと思った	108	39	37	48	35	267
人にやめるようにいわれた	212	19	24	8	3	266

比率の計算に当たっては、【表2-3-3】に同じ。

全く・あ まり思わ なかった	どちらと もいえな い	少し・強 く思っ た
27.2%	5.6%	67.2%
21.6%	6.3%	72.0%
46.6%	16.8%	36.6%
67.4%	12.7%	19.9%
67.0%	18.4%	14.6%
70.7%	11.3%	18.0%
55.1%	13.9%	31.1%
86.8%	9.0%	4.1%

【表2-4-1】 弁護士へのアクセス状況
(弁護士の付いたもののみ)

	人数	%
大いに苦勞した	16	3.8%
やや苦勞した	26	6.1%
どちらともいえない	16	3.8%
あまり苦勞しなかった	89	21.0%
全く苦勞しなかった	277	65.3%
合計	424	100.0%

【表2-4-2】 弁護士を見つけた経路

	人数	%
もともと知っていた	96	22.4%
親戚・知人の紹介	118	27.5%
職場での紹介	14	3.3%
法律相談所の紹介	19	4.4%
弁護士会の紹介	23	5.4%
会社の顧問弁護士	132	30.8%
電話帳で調べた	7	1.6%
近所の事務所に行ってみた	2	0.5%
雑誌・インターネット	0	0.0%
その他	50	11.7%
弁護士が付いたものの合計	424	98.8%

【表2-4-3】 弁護士の依頼時期

	人数	%
裁判予想前	244	57.5%
予想後訴え前	97	22.9%
訴え後	74	17.5%
その他	9	2.1%
回答者人数	424	100.0%

【表2-4-4】 弁護士の依頼理由

	全く思わなかった	あまり思わなかった	どちらともいえない	少し思った	強く思った	合計
法律に詳しくないから	31	41	49	108	192	421
安心できるから	14	27	37	106	236	420
面倒だから	188	68	65	48	50	419
勝ちたい(負けたくない)から	40	33	59	68	219	419
親戚・知人のすすめ	275	43	35	33	33	419
自分で解決できないから	42	18	39	91	229	419
顧問弁護士等がいたから	127	30	26	62	176	421
相手方に弁護士がいたから	186	33	59	40	100	418

全く・あまり思わなかった	どちらともいえない	少し・強く思った
17.1%	11.6%	71.3%
9.8%	8.8%	81.4%
61.1%	15.5%	23.4%
17.4%	14.1%	68.5%
75.9%	8.4%	15.8%
14.3%	9.3%	76.4%
37.3%	6.2%	56.5%
52.4%	14.1%	33.5%

比率の計算に当たっては、【表2-3-3】に同じ。

【表2-4-5】 弁護士へのアクセス困難の理由
 (【表4-1】で「大いに苦労した」、「やや苦労した」と答えたもののみ)

	全く思わ なかった	あまり思 わなかつ た	どちらと もいえな い	少し思っ た	強く思っ た	合計
知らなかったから	2	3	6	5	26	42
近くにいなかったから	4	5	6	8	18	41
情報がなかったから	4	1	4	11	22	42
ふさわしい弁護士が見つからなかったから	5	2	9	8	18	42
予算の折り合いがつかないから	16	9	7	5	5	42

全く・あ まり思わ なかった	どちらと もいえな い	少し・強 く思った
11.9%	14.3%	73.8%
22.0%	14.6%	63.4%
11.9%	9.5%	78.6%
16.7%	21.4%	61.9%
59.5%	16.7%	23.8%

比率の計算に当たっては、【表2-3-3】に同じ。

【表2-4-6】 弁護士を依頼しなかった理由(弁護士の付かなかったもののみ)

	全く思わ なかった	あまり思 わなかつ た	どちらと もいえな い	少し思っ た	強く思っ た	合計
自分で訴訟をしようと思った	65	10	17	23	37	152
弁護士の知り合いがいなかった	88	16	19	13	15	151
弁護士が近くにいなかった	89	15	19	12	16	151
弁護士の費用が高すぎる	53	6	17	18	58	152
弁護士についての情報が少ない	73	14	22	21	20	150
頼むほどのことではなかった	29	12	26	28	57	152
ふさわしい弁護士がいなかった	93	12	25	7	14	151
個人的な事情を話したくなかった	116	11	17	3	3	150

全く・あ まり思わ なかった	どちらと もいえな い	少し・強 く思った
49.3%	11.2%	39.5%
68.9%	12.6%	18.5%
68.9%	12.6%	18.5%
38.8%	11.2%	50.0%
58.0%	14.7%	27.3%
27.0%	17.1%	55.9%
69.5%	16.6%	13.9%
84.7%	11.3%	4.0%

比率の計算に当たっては、【表2-3-3】に同じ。

【表2-5-1】 手続評価

	全くそう 思わない	あまりそ う思わな い	どちらと もいえな い	少しそう 思う	強くそう 思う	合計
十分に主張できた	84	96	59	113	170	522
証拠を十分に提出できた	54	69	62	117	222	524
手続が分かりやすかった	62	83	116	103	118	482
進め方が公正だった	90	90	68	100	158	506
進め方が合理的だった	86	98	93	92	134	503
進め方が時間的に効率的だった	130	92	84	91	119	516
審理が充実していた	117	96	107	75	97	492

全く・あ まりそう 思わない	どちらと もいえな い	少し・強 くそう思 う
34.5%	11.3%	54.2%
23.5%	11.8%	64.7%
30.1%	24.1%	45.9%
35.6%	13.4%	51.0%
36.6%	18.5%	44.9%
43.0%	16.3%	40.7%
43.3%	21.7%	35.0%

比率の計算に当たっては、【表2-3-3】に同じ。

【表2-5-2】 費用評価

	非常に高 い	やや高い	どちらと もいえな い	やや安い	非常に安 い	合計
訴訟にかかった費用	86	101	335	28	13	563

非常・や や高い	どちらと もいえな い	やや・非 常に安い
33.2%	59.5%	7.3%

比率の計算に当たっては、次のようにまとめた。

「非常に高い」+「やや高い」 「非常・やや高い」
 「やや安い」+「非常に安い」 「やや・非常に安い」

【表2-5-3】 裁判にかかる費用の予測

	全く予想 がつか な かった	ある程度 予想が つ いた	はっきり と予想 が つ いた	合計
件数	253	250	78	581

全く予想 がつか な かった	ある程度 予想が つ いた	はっきり と予想 が つ いた
43.5%	43.0%	13.4%

【表2-5-4】 費用予測の根拠

	弁護士情 報	訴訟経験	独自調査	その他	回答者数
件数	193	73	63	32	328

弁護士情 報	訴訟経験	独自調査	その他
58.8%	22.3%	19.2%	9.8%

【表2-5-5】 高いと感じた費用

	手数料	弁護士費 用	鑑定料等	その他	わから ない	回答者数
件数	40	148	14	12	4	187

手数料	弁護士費 用	鑑定料等	その他	わから ない
21.4%	79.1%	7.5%	6.4%	2.1%

【表2-5-6】弁護士費用中に提訴手数料等も含まれていたか。

	いた	いない	わからない	回答者数	いた	いない	わからない
件数	71	44	32	147	48.3%	29.9%	21.8%

【表2-5-7】費用の予測と評価

	非常に高い	やや高い	どちらともいえない	やや安い	非常に安い	合計	非常・やや高い	どちらともいえない	やや・非常に安い
全く予想がつかなかった	48	31	150	9	2	240	32.9%	62.5%	4.6%
ある程度・はっきりと予想が立った	38	69	183	19	11	320	33.4%	57.2%	9.4%
合計	86	100	333	28	13	560	33.2%	59.5%	7.3%

【表2-5-8】時間評価

	長すぎる	やや長い	どちらともいえない	合理的範囲	短すぎる	合計	長すぎる	やや長い	どちらともいえない	合理的範囲	短すぎる
人数	128	78	158	163	46	573	22.3%	13.6%	27.6%	28.4%	8.0%

【表2-5-9】裁判にかかる時間の予測

	全く予想がつかなかった	ある程度予想が立った	はっきりと予想がついた	合計	全く予想がつかなかった	ある程度予想が立った	はっきりと予想がついた
人数	316	244	19	579	54.6%	42.1%	3.3%

【表2-5-10】時間予測の根拠

	弁護士情報	訴訟経験	独自調査	その他	回答者数	弁護士情報	訴訟経験	独自調査	その他
人数	143	82	46	17	263	54.4%	31.2%	17.5%	6.5%

【表2-5-11】時間がかかると感じた箇所

	提訴後第1回まで	第1回後尋問まで	尋問後最終まで	終結後判決まで	全体的期間	和解がまとまるまで	その他	わからない	回答者数
人数	63	50	26	38	134	35	3	7	206
%	30.6%	24.3%	12.6%	18.4%	65.0%	17.0%	1.5%	3.4%	100.0%

【表2-5-12】時間のかかる原因

	問題が複雑	人証が多い	当事者が多い	裁判官の日程	弁護士の日程	相手の引き延ばし	準備の時間	和解が難航	専門家の意見待ち	その他	わからない	回答者数
人数	32	29	6	55	61	59	17	44	11	28	27	206
%	15.5%	14.1%	2.9%	26.7%	29.6%	28.6%	8.3%	21.4%	5.3%	13.6%	13.1%	100.0%

【表2-5-13】時間の予測と評価

	短すぎる	合理的範囲	どちらともいえない	やや長い	長すぎる	合計
全く予想がつかなかった	21	74	93	38	82	308
ある程度・はっきりと予想が立った	24	88	64	38	46	260
合計	45	162	157	76	128	568

短すぎる	合理的範囲	どちらともいえない	やや長い・長すぎる
6.8%	24.0%	30.2%	39.0%
9.2%	33.8%	24.6%	32.3%
7.9%	28.5%	27.6%	35.9%

【表2-5-14】現実の時間経過と時間評価

	短すぎる	合理的範囲	どちらとも言えない	やや長い	長すぎる
原因から訴えまで	1046.4	833.0	890.8	730.4	997.1
訴えから終局まで	198.1	157.6	193.7	334.3	461.8
原因から終局まで	1097.4	865.4	1037.0	1015.3	1406.6

【表2-6-1】 裁判官評価

	全くそう 思わない	あまりそ う思わな い	どちらと もいえな い	少しそう 思う	強くそう 思う	合計
中立的であった	57	60	66	107	160	450
言い分を聞いてくれた	71	68	62	108	139	448
信頼できた	44	40	108	91	145	428
権威的・威圧的だった	157	117	91	40	36	441
常識を理解していた	59	51	100	104	105	419
丁寧に接してくれた	35	40	89	137	141	442
法律以外の知識も有していた	51	52	143	80	68	394
十分な準備をしていた	58	57	134	92	63	404

全く・あ まりそう 思わない	どちらと もいえな い	少し・強 くそう思 う
26.0%	14.7%	59.3%
31.0%	13.8%	55.1%
19.6%	25.2%	55.1%
62.1%	20.6%	17.2%
26.3%	23.9%	49.9%
17.0%	20.1%	62.9%
26.1%	36.3%	37.6%
28.5%	33.2%	38.4%

比率の計算に当たっては、【表2-3-3】に同じ。

【表2-6-2】 裁判官に対する満足度

	非常に不 満足	やや不満足	どちらと もいえな い	まあ満足	非常に満足	合計
裁判官のしてくれたことに満足しているか	102	78	87	175	48	490

非常に・ やや不満足	どちらと もいえな い	やや・非 常に満足
36.7%	17.8%	45.5%

比率の計算に当たっては、次のようにまとめた。

「非常に不満足」+「やや不満足」 「非常に・やや不満足」

「まあ満足」+「非常に満足」 「まあ・非常に満足」

【表2-7-1】 裁判所職員との接触頻度

	ほとんど ど・全く なかった	ある程度 あった	かなり あった	合計
人数	385	159	34	578

ほとんど ど・全く なかった	ある程度 あった	かなり あった
66.6%	27.5%	5.9%

【表2-7-2】 接触の相手方

(【表2-7-1】で「ある程度あった」「かなりあった」と答えたものみ)

	書記官	受付職員	廷吏	その他	合計
人数	117	58	14	4	193

書記官	受付職員	廷吏	その他
60.6%	30.1%	7.3%	2.1%

【表2-7-3】 裁判所職員評価

(【表2-7-1】で「ある程度あった」「かなりあった」と答えたものみ)

	全くそう 思わない	あまりそ う思わな い	どちらと もいえな い	少しそう 思う	強くそう 思う	わからな い	合計
中立的であった	7	6	18	56	94	12	193
話を聞いてくれた	8	5	24	54	84	18	193
丁寧であった	4	8	22	48	97	14	193
威圧的・権威的だった	106	35	18	14	13	7	193
効率的だった	5	5	41	54	63	25	193

全く・あ まりそう 思わない	どちらと もいえな い	少し・強 くそう思 う
6.7%	9.3%	77.7%
6.7%	12.4%	71.5%
6.2%	11.4%	75.1%
73.1%	9.3%	14.0%
5.2%	21.2%	60.6%

比率の計算に当たっては、【表2-3-3】に同じ。

【表2-7-4】 裁判所職員に対する満足度

	非常に不 満足	やや不満 足	どちらと もいえな い	まあ満足	非常に満 足	合計
職員の手してくれたことに満足しているか	10	12	46	82	41	191

非常に・ やや不満 足	どちらと もいえな い	やや・非 常に満足
11.5%	24.1%	64.4%

比率の計算に当たっては、【表2-6-2】に同じ。

【表2-8-1】 弁護士評価

	全くそう 思わない	あまりそ う思わな い	どちらと もいえな い	少しそう 思う	強くそう 思う	合計
言い分を十分に聞いてくれたか	12	22	20	99	267	420
信頼できたか	11	19	27	82	280	419
権威的・威圧的だったか	217	97	51	30	23	418
常識を理解していたか	8	17	51	103	236	415
丁寧に接したか	13	9	35	94	268	419
法律以外の知識を有していたか	15	20	61	118	188	402
十分な準備をしていたか	24	31	46	113	202	416
十分な説明をしたか	19	31	41	110	213	414

全く・あ まりそう 思わない	どちらと もいえな い	少し・強 くそう思 う
8.1%	4.8%	87.1%
7.2%	6.4%	86.4%
75.1%	12.2%	12.7%
6.0%	12.3%	81.7%
5.3%	8.4%	86.4%
8.7%	15.2%	76.1%
13.2%	11.1%	75.7%
12.1%	9.9%	78.0%

比率の計算に当たっては、【表2-3-3】に同じ。

【表2-8-2】 弁護士に対する満足度

	非常に不 満足	やや不満足	どちらと もいえな い	やや満足	非常に満 足	合計
弁護士のしてくれたことに満足しているか	47	46	50	161	121	425

非常に・ やや不満 い	どちらと もいえな い	非常に・ やや満足
21.9%	11.8%	66.4%

比率の計算に当たっては、【表2-6-2】に同じ。

【表2-9-1】 相手方弁護士のいた割合

	相手方弁 護士がい た	相手方弁 護士がい ない	わからな い	合計
人数	416	127	41	584

相手方弁 護士がい た	相手方弁 護士がい ない	わからな い
71.2%	21.7%	7.0%

【表2-9-2】 相手方弁護士評価

	全くそう 思わない	あまりそ う思わな い	どちらと もいえな い	少しそう 思う	強くそう 思う	合計
迅速に審理を進めようとしていたか	69	60	69	74	69	341
権威的・威圧的だったか	79	65	75	42	81	342
弁護に必要な知識を有していたか	44	47	100	49	50	290

全く・あ まりそう 思わない	どちらと もいえな い	少し・強 くそう思 う
37.8%	20.2%	41.9%
42.1%	21.9%	36.0%
31.4%	34.5%	34.1%

比率の計算に当たっては、【表2-3-3】に同じ。

【表2-10-1】 終局状況

	判決	和解	取り下げ	その他	わからない	合計
件数	191	332	35	6	23	587

判決	和解	取り下げ
32.5%	56.6%	6.0%

【表2-10-2】 有利不利評価

	不利	やや不利	どちらともいえない	やや有利	有利	合計
件数	152	52	183	71	114	572

不利・やや不利	どちらともいえない	やや・有利
35.7%	32.0%	32.3%

比率の計算に当たっては、次のようにまとめた。

「非常に不満足」 + 「やや不満足」 「非常に・やや不満足」
 「まあ満足」 + 「非常に満足」 「まあ・非常に満足」

【表2-11-1】 訴訟後の権利義務の状況

	金銭的権利を得た	金銭以外の権利を得た	金銭的義務を負った	金銭以外の義務を負った	権利・義務なし	回答者人数
件数	236	51	196	27	101	586
平均金額(万円)	1083.7		969.7			

金銭的権利を得た	金銭以外の権利を得た	金銭的義務を負った	金銭以外の義務を負った	権利・義務なし
40.3%	8.7%	33.4%	4.6%	17.2%

権利を得た	権利義務なし	義務を負った
49.0%	17.2%	38.1%

【表2-11-2】 金銭以外の権利の内訳

	土地建物の明け渡し	土地建物の所有権確認	土地建物の登記変更	地代・家賃の変更	離婚	訴訟費用の負担	その他	回答者人数
件数	16	6	12	2	4	4	17	51

【表2-11-3】 金銭以外の義務の内訳

	土地建物の明け渡し	土地建物の所有権確認	土地建物の登記変更	地代・家賃の変更	離婚	訴訟費用の負担	その他	回答者人数
件数	8	3	5	1	3	3	6	27

【表2-11-4】 相手方の義務の履行状況

	完全に果たした	一部果たした	全く果たしていない	まだ裁判続行中	その他	わからない	回答者人数
件数	126	55	41	15	14	7	287

完全に果たした	一部果たした	全く果たしていない	まだ裁判続行中
43.9%	19.2%	14.3%	5.2%

【表2-11-5】回答者の強制執行の利用状況

	全く行っていない	一部行った	全てに行った	その他	わからない	回答者人数
件数	193	7	14	7	12	287

全く行っていない	一部行った	全てに行った
67.2%	2.4%	4.9%

【表2-11-6】自己側の義務の履行状況

	完全に果たした	一部果たした	全く果たしていない	まだ裁判続行中	その他	わからない	回答者人数
件数	122	35	18	17	8	5	223

完全に果たした	一部果たした	全く果たしていない	まだ裁判続行中
54.7%	15.7%	8.1%	7.6%

【表2-11-7】回答者に対する強制執行の実行状況

	全く受けていない	一部受けた	全てに受けた	その他	わからない	回答者数
件数	175	3	4	2	6	223

全く受けていない	一部受けた	全てに受けた
78.5%	1.3%	1.8%

【表2-12-1】判決の理解度

	わかりにくかった	どちらかといえばわかりにくかった	どちらともいえない	どちらかといえばわかりやすかった	わかりやすかった	合計
件数	37	22	16	33	80	188

わかりにくい・どちらかといえばわかりにくかった	どちらともいえない	わかりやすかった
31.4%	8.5%	60.1%

【表2-12-2】判決内容に対する弁護士の説明

	わかりにくかった	どちらかといえばわかりにくかった	どちらともいえない	どちらかといえばわかりやすかった	わかりやすかった	説明がなかった	わからない	合計
件数	11	7	13	17	70	9	5	132

わかりにくい・どちらかといえばわかりにくかった	どちらともいえない	わかりやすかった	説明がなかった
13.6%	9.8%	65.9%	6.8%

【表2-12-3】和解の理解度

	わかりにくかった	どちらかといえばわかりにくかった	どちらともいえない	どちらかといえばわかりやすかった	わかりやすかった	合計
件数	28	21	50	62	171	332

わかりにくい・どちらかといえばわかりにくかった	どちらともいえない	わかりやすかった
14.8%	15.1%	70.2%

【表2-12-4】和解内容に対する弁護士の説明

	わかりにくかった	どちらかといえばわかりにくかった	どちらともいえない	どちらかといえばわかりやすかった	わかりやすかった	説明がなかった	わからない	合計
件数	10	12	31	27	148	16	3	247

わかりにくい・どちらかといえばわかりにくかった	どちらともいえない	わかりやすかった	説明がなかった
8.9%	12.6%	70.9%	6.5%

【表2-12-5】取り下げ理由

	話し合いがまとまった	相手が言い分認めた	権利実現不能	相手の希望	相手のあきらめ	裁判官の勧め	その他	わからない	合計
件数	16	7	2	9	1	2	7	1	45

【表2-12-6】 結果評価

	全くそう思わない	あまりそう思わない	どちらともいえない	少しそう思う	強くそう思う	わからない	合計
結果は公正である	128	80	93	129	144	---	574
結果は社会一般の常識に一致する	113	71	111	130	149	---	574
結果は法律の規定に一致する	69	56	114	139	145	---	577

全く・あまりそう思わない	どちらともいえない	少し・強く思う
36.2%	16.2%	47.6%
32.1%	19.3%	48.6%
21.7%	19.8%	49.2%

【表2-12-7】 認容度

	全く受け入れることができない	あまり受け入れることができない	どちらともいえない	ある程度受け入れることができる	受け入れることができる	合計
結果を受け入れることができる	84	59	64	137	230	574

全く・あまり受け入れることができない	どちらともいえない	ある程度・受け入れることができる
24.9%	11.1%	63.9%

【表2-12-8】 納得度

	全く納得できない	あまり納得できない	どちらともいえない	ある程度納得できる	納得できる	合計
結果に納得している	126	72	59	142	176	575

全く・あまり納得できない	どちらともいえない	ある程度・納得できる
34.4%	10.3%	55.3%

【表2-12-9】 満足度

	非常に不満足	やや不満足	どちらともいえない	まあ満足	非常に満足	合計
結果に満足している	134	84	88	179	88	573

非常に・やや不満足	どちらともいえない	非常に・まあ満足
38.0%	15.4%	46.6%

【表2-13-1】 裁判制度評価

	全くそう 思わない	あまりそ う思わな い	どちらと もいえな い	少しそう 思う	強くそう 思う	わからな い	合計
紛争解決の役目を果たしているか	69	148	111	162	58	40	588
国民にとって利用しやすいか	121	194	117	98	27	31	588
裁判制度は公正であるか	72	111	130	158	87	30	588
法律は公正であるか	61	93	146	159	89	40	588
法律は国民生活の現状にあっているか	90	174	170	95	13	44	586
裁判制度に満足しているか	93	182	168	87	14	44	588
同じようなことがあったらもう一度裁判をするか	66	61	119	130	182	29	587
同じような状況の人に裁判をすすめるか	81	82	150	110	132	33	588

全く・あ まりそう 思わない	どちらと もいえな い	少し・強 くそう思 う
36.9%	18.9%	37.4%
53.6%	19.9%	21.3%
31.1%	22.1%	41.7%
26.2%	24.8%	42.2%
45.1%	29.0%	18.4%
46.8%	28.6%	17.2%
21.6%	20.3%	53.2%
27.7%	25.5%	41.2%